

育児ビッグデータを活用した研究およびプロダクト開発事業

株式会社ファーストアセント

育児記録アプリ：「パパッと育児@赤ちゃん手帳」



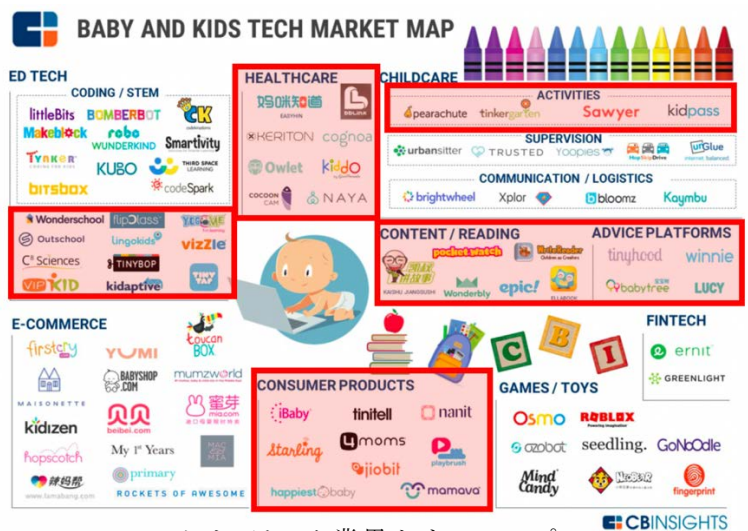
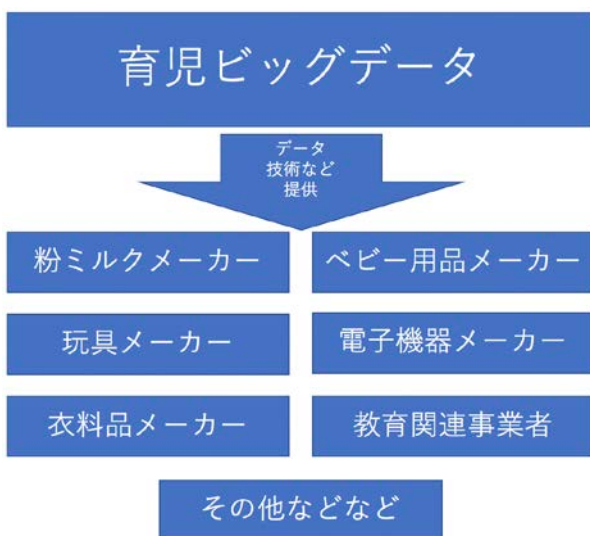
第8回キッズデザイン賞を受賞

アイコンタップで育児記録が付けられ、生活リズムを見える化するアプリサービス。

これまでに40万人以上の子育てに利用頂いており、育児ビッグデータの収集に成功している。

育児ビッグデータを用いた研究

- 国立成育医療研究センターをはじめとした医療研究機関や企業と育児ビッグデータを用いた共同研究を実施
- 当社独自および企業と共同でのベビーテック商品を開発中



ベビーテック業界カオスマップ

※赤枠領域は現在研究・開発中の領域

## 事業ビジョン・コンセプト

働く世代の育児を支えます

### 事業概要

#### ①製品・商品・サービスの概要

「育児ビッグデータを用いた研究プラットフォーム事業」  
育児記録アプリ「パパっと育児@赤ちゃん手帳」を用いて収集した育児ビッグデータを活用し、小児医療の研究や、ベビーテック（※1）領域の新プロダクト開発を行っている。同取り組みの自社事例として、赤ちゃんの泣き声から感情を分析する泣き声診断サービスの開発などがある。

#### ※1 ベビーテックとは

妊活から出産、子育てを支援するIoTデバイスやアプリケーション、Webサービスなどを指す総称のことであり、世界最大級の家電の見本市「CES（Consumer Electronics Show）」で専用エリアも設けられている。全世界の子育て関連市場は2025年に13.5兆円市場と予想（※2）されており、すでに2016年には12.4億ドル（1300億円）以上の投資が行われている市場（※3）である。

※2 <https://www.grandviewresearch.com/press-release/global-baby-products-market>

※3 [https://www.cbinsights.com/reports/CB-Insights\\_Baby-and-Kids-Tech-Briefing.pdf](https://www.cbinsights.com/reports/CB-Insights_Baby-and-Kids-Tech-Briefing.pdf)

#### ②顧客セグメント・市場特性

子育て世代のコンシューマおよび同コンシューマ向けにサービス提供している企業  
海外ではベビーテックと呼ばれ、注目をされている事業領域である。

#### ③提供する価値

コンシューマ向け：育児支援サービスを提供

企業向け：育児ビッグデータおよび同データを用いたAIアルゴリズムやプロダクト開発能力を提供

#### ④特長（新規性・独創性、市場性・将来性、実現可能性、社会・経済への貢献性）

当社は、国立成育医療センター研究所と世界初となる育児ビッグデータを用いた共同研究を行っている（<https://www.ncchd.go.jp/press/2017/sp.html>）。本共同研究成果として、第51回小児内分泌学会において発表を行っているが、その際、最優秀演題候補にノミネートを頂くなど、研究の新規性、独創性が高い評価を頂いている。またビッグデータを活用した医療研究は現在のトレンドであり、将来性や社会・経済への貢献性も高いと考えられる。当社はこのような背景の研究を通じて得た知見を元に、成長性が期待されているベビーテック領域の新プロダクトの開発を行っている。

### 今後の課題と対策

ベビーテック商品のプロトタイプ開発を行い、パパっと育児上のモニタユーザに対してサービス提供を行い、市場性を調査する。この試みを高速でたくさん回すことが重要であるが、人的リソース面に不安がある。資金調達をすることで、人員を確保して行く方針である。

株式会社ファーストアセント

代表取締役

服部 伴之

<http://first-ascent.jp>

e-mail

[hattori@first-ascent.jp](mailto:hattori@first-ascent.jp)

〒104-0061

東京都中央区銀座7-13-6

サガミビル2F